

能代市、三種町及び男鹿市沖 洋上風力発電事業者選定について

問合せ エネルギー産業政策課 ☎ 89・2187

◆洋上風力発電事業者が選定
令和3年12月24日、経済産業省および国土交通省は、洋上風力発電を導入する促進区域である「能代市、三種町及び男鹿市沖」での洋上風力発電事業者を「秋田能代・三種・男鹿オフショアウインド」に選定しました。

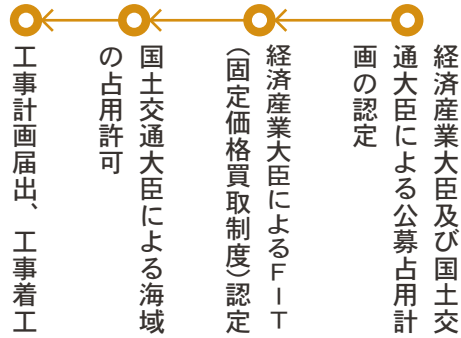
◆事業者選定の手順

促進区域ごとに示される公募占用指針により、事業者は公募占用計画を提出し、事業計画など記載すべき事項を記した「供給価格」および「事業実現性に関する要素」について評価が行われました。

国で設定した上限価格は29円/kWhで、「秋田能代・三種・男鹿オフショアウインド」は13・26円/kWhを提示し「供給価格」で1位、地域との調整や事業の波及効果などで評価される「事業実現性に関する要素」でも1位の点数でした。



—今後の流れ—



能代市、三種町及び男鹿市沖の選定事業者および事業計画概要

事業者名	構成員	発電設備	出力	発電メーカー	運転開始予定時期
秋田能代・三種・男鹿オフショアウインド	三菱商事エナジーソリューションズ(株) 三菱商事(株) (株)シーテック	着床式	47.88万kW (1.26万kW×38基)	GE ※アメリカのゼネラル・エレクトリック	令和10年 12月

教えて！洋上風力発電！

Q 陸上風力と洋上風力の違いは？

A 設備利用率（発電設備の発電量が、仮に100%運転を続けた場合に得られる電力量の何%にあたるかを表す数値）では陸上風力が20~30%程度、洋上風力が30%以上といわれており、かつ陸上と比較して洋上は風況が安定しています。

Q 世界ではどのくらいの洋上風力が建設されているの？

A 欧州での設置が先行しています。令和2年の累計設備容量では、欧州が約3,500万kW、アジア・太平洋が約1,000万kW。国別ではイギリスと中国が約1,000万kW、ドイツが約770万kWとなっています。

Q 日本ではどのくらいの洋上風力が建設されているの？

A 令和2年12月末時点で着床式・浮体式あわせて、1万4,400kWです。国では目標を令和12年までに1,000万kWとしています。令和4年末までに、能代港と秋田港で約14万kWの国内初となる洋上風力発電の商用運転が開始されます。

Q 地元の産業や雇用はどのようになるの？

A 風車の部品数は1~2万点といわれており、20年以上の運転期間中には継続したメンテナンスも必要となることから、地元企業などの参入が期待でき、対応できる人材の育成も重要となります。今後、地元の事業者を対象に選定事業者による説明会などの開催を予定しています。